

## 第2章 関連計画・施策の整理

### ア. 第五次新居浜市長期総合計画

名称・策定年次
第五次新居浜市長期総合計画【平成23年3月策定、平成28年3月改訂】
計画期間
平成23(2011)年度から平成32(2020)年度
将来都市像（目指す姿）
－あかがねのまち、笑顔輝く－ 産業・環境共生都市
まちづくりの理念
理念1：市民が安全・安心を実感できるまちづくり 理念2：市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり 理念3：市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり 理念4：子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり
将来人口
平成32年で116,000人を維持する
まちづくりの目標
フィールド1：快適交流 ～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～ フィールド2：環境調和 ～地域にやさしい、地球にやさしい暮らしの実現～ フィールド3：経済活力 ～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～ フィールド4：健康福祉 ～誰もが健康で、生きがいと安心感のある暮らしの実現～ フィールド5：教育都市 ～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～ フィールド6：自立協働 ～多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現～

※立地適正化に関連する内容の抜粋（波線は見直し時に追加された施策）

フィールド1：快適交流 ～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

<p><b>施策1 良好な都市空間の形成</b></p> <p>①計画的な土地利用の促進 ②地籍調査の推進</p>	<p><b>施策2 道路の整備</b></p> <p>①広域幹線道路の整備 ②市域内幹線道路の整備 ③生活道路の充実 ④道路交通安全対策の推進 ⑤<u>安全で快適な自転車利用環境の創出</u></p>
<p><b>施策3 JR新居浜駅周辺の整備</b></p> <p>①JR新居浜駅周辺の公共施設整備 ②駅南北一体化により新都市拠点の形成</p>	<p><b>施策4 安心な住宅の整備</b></p> <p>①公営住宅等の整備 ②住宅及び住環境の整備 ③高齢者の住宅の確保 ④住宅・住環境の防災性の向上</p>
<p><b>施策5 公園・緑地の整備</b></p> <p>①既存公園・緑地の再整備と維持管理の充実 ②公園・緑地整備の推進 ③総合運動公園整備の推進 ④良好な景観の形成</p>	<p><b>施策6 港湾の整備</b></p> <p>①物流の高度化に対応する公共ふ頭の整備 ②大規模地震対策施設の整備 ③港湾・海岸施設の適切な管理と長寿命化</p>

○こんなまちづくりを進めます

- ・都市計画の策定      ・総合的な土地利用計画の策定      ・建築基準法指定道路台帳の整備
- ・国道11号バイパスの整備推進      ・都市計画道路上部東西線等の整備促進
- ・南北自由通路、駐車場、駐輪場、公衆トイレ等駅周辺施設の整備
- ・老朽化した公営住宅の計画的な建替      ・都市公園整備の推進(街区・近隣公園)
- ・港湾施設長寿命化対策の実施

フィールド3：経済活力 ～持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現～

<p><b>施策7 運輸交通体系の整備</b></p> <p>①公共交通の拡充整備      ②交通結節点機能の充実強化      ③物流機能の充実強化</p>
--

フィールド6：自立協働 ～多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現～

<p><b>施策6 地域コミュニティの充実</b></p> <p>①地域コミュニティ活動への支援      ②地域再生への体制づくり      ③<u>移住・定住の促進</u></p>
--

# イ. 新居浜市人口ビジョン、新居浜市総合戦略

名称・策定年次

新居浜市人口ビジョン、新居浜市総合戦略【平成27年12月】

計画期間

平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの5年間

目指す姿

住みたい、住み続けたい あかがねのまち

将来目標人口（人口ビジョン）

平成52（2040）年まで10万人を維持  
平成72（2060）年の目標人口9万人

基本目標と基本的方向、数値指標、施策の体系

新居浜市人口ビジョンで掲げた将来目標人口の達成に向けて、「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」を目指し、次の4つの基本目標を掲げ、目標ごとに定める具体的な施策に取り組みます。

基本目標と基本的方向、数値目標	施策の体系									
<p><b>基本目標 1 新</b> たな雇用を創り出し、地元産業を振興します</p> <p>「ものづくり産業」を初めとする地元産業の振興を図るとともに、エネルギー関連産業など新たな産業の育成支援、創業に対する支援を行います。また、住友各社との連携の強化、企業誘致の促進を図ります。</p> <table border="1"> <tr> <th>数値目標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>市内事業所従業者数</td> <td>54,020人</td> <td>54,100人</td> </tr> <tr> <td>市内製造品出荷額等</td> <td>6,582億1,500万円</td> <td>7,000億円</td> </tr> </table>	数値目標	現況値	目標値	市内事業所従業者数	54,020人	54,100人	市内製造品出荷額等	6,582億1,500万円	7,000億円	<p><b>ものづくり産業の振興</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 販路開拓への支援、新事業展開・産官学金連携の推進</li> <li>② ものづくり人材の確保と育成</li> <li>③ 中小企業の経営体質の強化と企業価値の向上</li> </ol> <p><b>新産業の創出、創業への支援</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① エネルギー関連産業や成長産業の創出支援</li> <li>② 意欲ある起業家等への支援</li> </ol> <p><b>地元産業の振興</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事業承継への支援</li> <li>② <span style="border: 2px solid red;">中心商店街の活性化</span></li> <li>③ 第一次産業の新たな取組への支援</li> </ol>
数値目標	現況値	目標値								
市内事業所従業者数	54,020人	54,100人								
市内製造品出荷額等	6,582億1,500万円	7,000億円								
<p><b>基本目標 2 居</b> 住地・観光地としての魅力を高め、定住人口・交流人口を拡大します</p> <p>移住相談体制の整備充実やUターン促進、企業城下町版CCRCの導入に向け取り組み、移住・定住の促進を図ります。また、別子銅山の近代化産業遺産群の活用等により、交流人口の増加を図ります。</p> <table border="1"> <tr> <th>数値目標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>年間社会増減数</td> <td>△399人</td> <td>△260人</td> </tr> <tr> <td>年間観光入込客数</td> <td>2,206,000人</td> <td>2,500,000人</td> </tr> </table>	数値目標	現況値	目標値	年間社会増減数	△399人	△260人	年間観光入込客数	2,206,000人	2,500,000人	<p><b>移住・定住の促進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 移住支援体制の整備・充実</li> <li>② 本市出身大卒者等のUターンの促進</li> <li>③ <span style="border: 2px solid red;">本市への定住の促進</span></li> <li>④ <span style="border: 2px solid red;">本市からの転出の抑制</span></li> <li>⑤ <span style="border: 2px solid red;">企業城下町版CCRC®の導入</span></li> </ol> <p><b>交流人口の拡大</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 別子銅山近代化産業遺産等を活用した観光の振興</li> <li>② サイクリングイベントや各種イベントの開催</li> <li>③ 本市のイメージアップと認知度の向上</li> <li>④ 新居浜ブランド（物産）の育成・支援</li> </ol>
数値目標	現況値	目標値								
年間社会増減数	△399人	△260人								
年間観光入込客数	2,206,000人	2,500,000人								
<p><b>基本目標 3 浜</b> っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します</p> <p>若い世代の結婚に向けた取組や妊娠・出産の各ステージにおける切れ目のない支援体制の構築、子育て世帯への経済的支援の拡充等により、少子化対策・子育て支援の充実を図ります。また、健康に対する意識啓発等を行い、健康寿命の延伸を図ります。</p> <table border="1"> <tr> <th>数値目標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>合計特殊出生率</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>65歳健康寿命</td> <td>男 16.04年 女 19.47年</td> <td>男 17.3年 女 20.5年</td> </tr> </table>	数値目標	現況値	目標値	合計特殊出生率	1.8	1.9	65歳健康寿命	男 16.04年 女 19.47年	男 17.3年 女 20.5年	<p><b>少子化対策の充実</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 若者の出会いの場の創出</li> <li>② 妊娠、出産に対する支援</li> <li>③ ワーク・ライフ・バランスの推進</li> </ol> <p><b>子育て支援の充実</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子育て世帯への経済的支援の充実</li> <li>② 安心して子育てができる環境の整備</li> </ol> <p><b>健康寿命の延伸</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 健康長寿社会の実現</li> </ol>
数値目標	現況値	目標値								
合計特殊出生率	1.8	1.9								
65歳健康寿命	男 16.04年 女 19.47年	男 17.3年 女 20.5年								
<p><b>基本目標 4 市</b> 域を越えた連携を進め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します</p> <p>新居浜・西条・四国中央の3市連携やまちのコンパクト化を推進します。また、住民が主体となったまちづくりや安全・安心のまちづくりを推進するとともに、芸術文化、スポーツを振興します。</p> <table border="1"> <tr> <th>数値目標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>「新居浜市の住みごころ」を満足、やや満足と回答した割合</td> <td>55.5%</td> <td>80.0%</td> </tr> </table>	数値目標	現況値	目標値	「新居浜市の住みごころ」を満足、やや満足と回答した割合	55.5%	80.0%	<p><b>3市（新居浜・西条・四国中央）連携の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ものづくりを共通の基盤とする3市の連携推進</li> </ol> <p><b>コンパクトなまちづくりの推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <span style="border: 2px solid red;">公共施設の適正な配置</span></li> <li>② <span style="border: 2px solid red;">人口減少社会に対応したコンパクトシティの形成</span></li> </ol> <p><b>住民が主体となったまちづくりの推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域課題解決のための新たな仕組み、人づくりの推進</li> </ol> <p><b>安全・安心のまちづくりの推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <span style="border: 2px solid red;">防災・減災対策の強化と空き家対策の推進</span></li> </ol> <p><b>芸術文化、スポーツの息づくまちづくりの推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 芸術文化活動の推進</li> <li>② 地域スポーツの推進</li> </ol>			
数値目標	現況値	目標値								
「新居浜市の住みごころ」を満足、やや満足と回答した割合	55.5%	80.0%								

立地適正他計画に関わる施策

## 施策4-2 コンパクトなまちづくりの推進

### ①公共施設の適正な配置

#### ■施策の内容

人口減少社会の進展及び公共施設の大量更新問題を踏まえ、将来的に維持することができる公共施設の総量を見極め、計画的な統廃合や再配置を推進するとともに、公営住宅の市中心部への集約化を図ります。

#### ■KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	目標値
公共施設の延床面積削減目標の設定	未設定 (平成 26 年度)	削減目標設定 (平成 30 年度)
公共施設再配置計画の策定	未設定 (平成 26 年度)	計画策定 (平成 30 年度)

#### ■具体的な事業、取組（新規事業）

- ・学校等の公共施設の統廃合、再配置の推進
- ・老朽化した公営住宅の市内中心部への集約化

### ②人口減少社会に対応したコンパクトシティの形成

#### ■施策の内容

既存の都市施設や公共施設等の有効活用を図りながら、地域の拠点、都市機能の効率的な集積と居住の誘導を行うとともに、公共交通ネットワークを軸として各拠点が連携するコンパクトシティの実現に向けたまちづくりを推進します。

#### ■KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	目標値
立地適正化計画の策定	未策定 (平成 26 年度)	計画策定 (平成 30 年度)

#### ■具体的な事業、取組（新規事業）

- ・持続可能なコンパクトなまちづくりを目的とした立地適正化計画の策定

## ウ. 新居浜市都市計画マスタープラン

<b>名称・策定年次</b>	
新居浜市都市計画マスタープラン ―新居浜市の都市計画に関する基本的な方針― 光都プラン21 【平成28年3月】	
<b>計画期間</b>	
平成13年度から平成32年度	
<b>基本理念</b>	
本市固有の恵まれた自然、育まれてきた歴史や文化等の風土が人々の生活の中で息づき、市民の自由な生活活動を支えるとともに、本市独自の個性が光る『ゆとりと豊かさにあふれ、活力と魅力のあるきらりと光るまち』を目指していきます。	
<b>将来都市像</b>	
都市の将来像は、基本理念を踏まえつつ、第五次新居浜市長期総合計画に定める「あかがねのまち」「笑顔輝く」「産業・環境共生都市」を目指します。 ―あかがねのまち、笑顔輝く― 産業・環境共生都市 新居浜市都市計画マスタープランの愛称：『光都（コート）プラン21』	
<b>基本目標</b>	
<b>【基本目標】</b> (1) 瀬戸内三橋時代にふさわしい高次都市機能を備えた産業・環境共生都市づくり (2) 未来を築く産業を創造する活力あるまちづくり (3) 快適で魅力と賑わいのある市街地の再生 (4) 本市固有の自然や歴史・文化などの環境と共生するまちづくり (5) 誰もが安心して豊かに暮らせる生活空間づくり	
<b>将来フレーム</b>	
平成32年度（目標年）将来目標人口 11.6万人（第五次新居浜市長期総合計画と整合）	
<b>将来都市構造の基本方向</b>	
1) 複合臨海部	・今後も産業基盤等の整備と充実に努めていくとともに、津波に強いまちづくりに努めながら、住宅地との共存、自然環境との共生を目指す地域
2) 平野部	・都市拠点は高次都市機能の充実・強化等とまち中の居住を適正に誘導する地域 ・周辺部の既成市街地は都市施設の効率的な整備等を図り、伝統的な地域コミュニティと良好な居住環境の維持・保全を図る地域 ・田園地域は優良農地の保全に努めるとともに、適正な土地利用規制・誘導により良好な環境の保全を図る地域
3) 丘陵部	・緑の保全と活用を計画的に努めていく地域。また、貴重な景観要素となる地域であるとともに、内陸部での産業基盤等の整備を進める地域が融合するべき地域
4) 複合山地部	・自然環境の保全を前提に、歴史・文化、観光・レクリエーション機能の充実に努めていく地域
5) 山間部	・森林公園ゆらぎの森を核とした別子、翠波はな街道の活用を図り、地域内外の交流促進と、自然環境及び産業遺産の宝庫として保全に努めていく地域

主要拠点と都市軸の形成方針

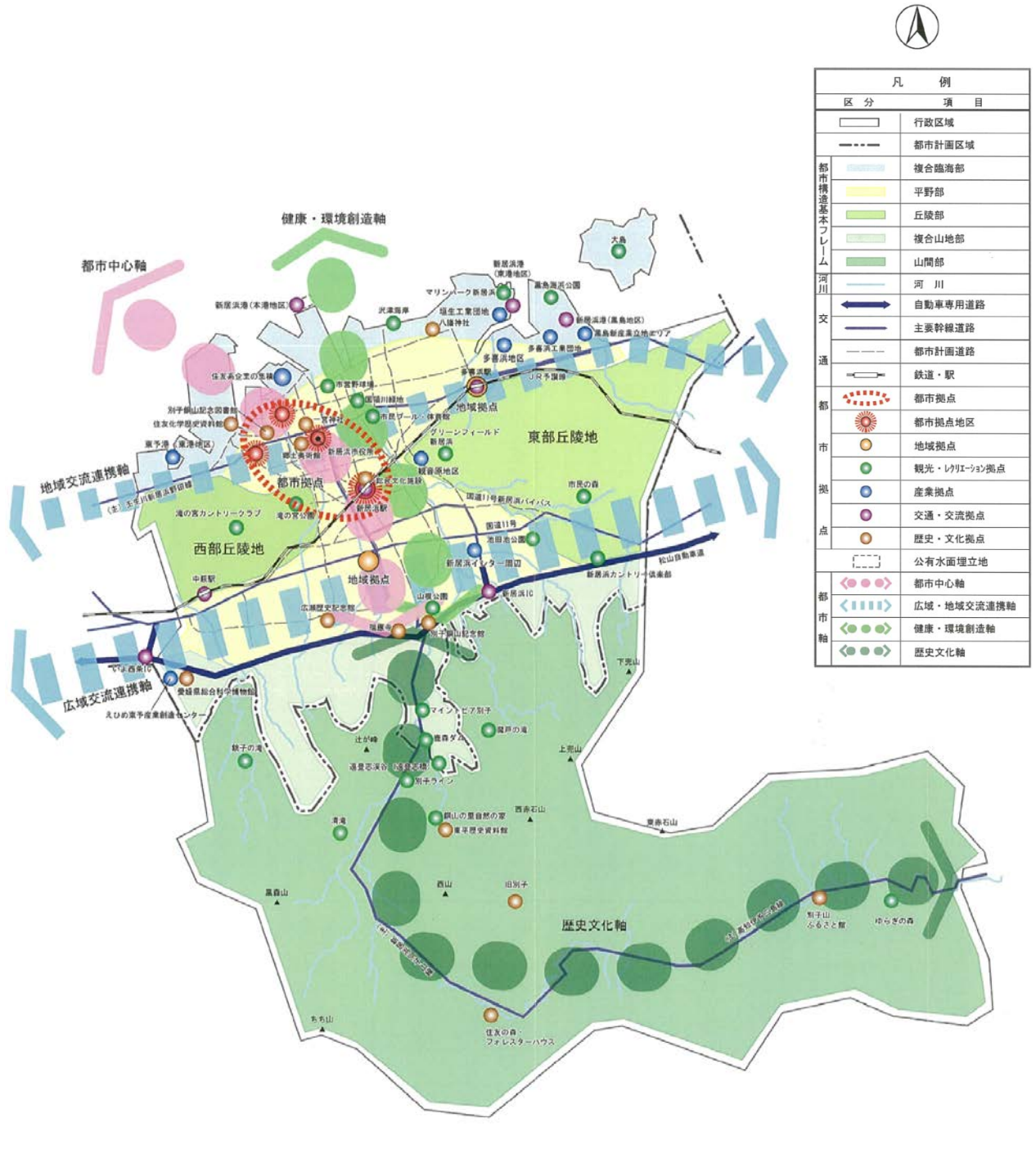
1) 都市拠点の形成方針	<p>○JR新居浜駅周辺地区：本市の「玄関口」としての役割を担っていることから、面的整備事業等の活用や市民参加型まちづくりにより『新居浜らしい出会いの場』の形成を推進します。</p> <p>○一宮町・繁本町周辺地区：官公庁施設の高度化、都市基盤整備と周辺地区環境との一体的な整備を推進します。</p> <p>○昭和通り・登り道沿道地区：昭和通り、登り道商店街を含む中心商店街周辺は、人々が集い、賑う魅力ある商店街の創出に努めながら、商業・業務機能の強化を図ります。</p> <p>○前田町周辺地区：商業・業務及びアミューズメントが複合した地区として、機能の充実を図ります。</p>
2) 地域拠点	<p>・喜光地周辺、JR多喜浜駅周辺の2地区：生活サービスの提供、近隣商業サービス機能の充実に努めます。</p>
3) 交通・交流拠点	<p>・交通網の主要結節点となるJR新居浜駅、多喜浜駅、中菟駅及び松山自動車道新居浜インターチェンジ、新居浜港（本港地区、東港地区）及び東予港（東港地区）は、交通及び交流機能の充実に努めます。</p>
4) 産業拠点	<p>・臨海部にある工業集積地、多喜浜、黒島、垣生、阿島工業団地及びえひめ東予産業創造センターは、産業基盤の整備・充実や交通結節点とのアクセシ性の向上を図ります。</p> <p>・新たな産業拠点として、東予港（東港地区）、新居浜港（本港地区）において更なる産業振興を、多喜浜地区、観音原地区から新居浜インターチェンジ付近において工業系施設の立地誘導を図ります。</p>
5) 観光レクリエーション拠点	<p>○南部観光・レクリエーション：周辺環境との共生のもと、観光、交流・ふれあい、学習等の機能の充実を図るとともに広域観光の振興を推進します。</p> <p>○その他の観光・レクリエーション拠点：主要な観光資源は、当拠点へのアクセシ性の向上を図るとともに、一層の活用を推進します。</p>
6) 歴史・文化拠点	<p>・主要な歴史・文化資源は、施設の保存と活用に努め、観光資源とのネットワーク化により地域の活性化を推進します。</p>
7) 都市軸の形成	<p>○都市中心軸：歴史文化軸からつながる本市の都市形成史を物語る軸であり、都市拠点の機能強化に努めるとともに、計画的かつ合理的な都市基盤の整備を図ります。</p> <p>○広域交流連携軸：圏域、広域での都市間ネットワークを形成し、機能、役割分担及び連携による効率的で個性を生かした産業、文化、観光の振興を図ります。</p> <p>○地域交流連携軸：隣接する西条市、四国中央市を結ぶ主要な道路は、地域の活性化と東西軸の強化を図ります。</p> <p>○健康・環境創造軸：国領川の南北軸は、健康の増進と水と緑の潤いのある豊かな都市環境の創造を図ります。</p> <p>○歴史文化軸：本市の歴史を踏まえ、別子山地域から東平、端出場、立川を經由して、都市中心軸及び健康・環境創造軸につながる軸は、近代化産業遺産と豊かな自然景観の保全活用を図ります。</p>

土地利用方針

【コンパクトなまちづくりへの取組】

- ・福祉・医療・商業等の都市機能をJR新居浜駅周辺、一宮町・繁本町周辺、昭和通り・登り道沿道、前田町周辺の都市拠点や喜光地周辺、JR多喜浜駅周辺の地域拠点等に誘導するとともに、その近傍地域に居住の誘導に努め、合わせて都市拠点や地域拠点と周辺地域の間を路線バス、デマンドタクシー等の公共交通によりアクセスを確保し、いつまでも暮らしやすいまちづくり（コンパクトシティ・プラス・ネットワーク）を目指します。
- ・これらを推進するため、都市全体の観点から、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープランである「立地適正化計画」の策定を検討します。

将来都市構造図



<将来都市構造図>

